

三 沢 市 立 三 沢 病 院 事 業 運 営 審 議 会 会 議 録

開催日時	令和7年2月17日（月）午後1時30分～午後2時30分		
場 所	三沢市立三沢病院 1階 会議室		
出席者	委 員	堤 喜一郎 会 長 鈴 木 吾 朗 副会長 鈴 木 重 正 委 員 久保田 隆 二 委 員 伊 藤 博 次 委 員 出 戸 勝 委 員 野 川 剛 委 員 小 向 香 織 委 員 （委員8名全員出席）	
	事 務 局	事業管理者 伊 藤 悦 朗 院長兼地域医療連携室長 斎 藤 聡 薬局長 柳 川 明 子 看護局長 岡 田 理 津 子 事務局長 遠 藤 恵 介 同局参事兼管理課長 山 本 新 一 同局同課副参事兼課長補佐 山 本 真 人 同局同課課長補佐 小 笠 原 賢 同局同課庶務会計係長 沼 田 恭 同局同課経営企画係長 今 井 理 恵 同局同課管財係長 千 葉 嵩 大 同局医事課長 田 高 安 功 同局同課課長補佐 種 市 浩 幸 同局同課課長補佐 田 中 志 依 同局同課医事係長 桑 嶋 可 奈 子 同局同課経医療情報管理係長 木 村 真 也 将来構想企画室長 別 部 容 寛	
次 第	1 開会 2 事業管理者挨拶 3 案件 （1）令和7年度三沢市立三沢病院事業会計予算について （2）三沢市医師等修学資金の貸与について 4 その他 （1）三沢市医師等修学資金の追加募集について （2）外来患者意識調査集計結果について 5 閉会		

会議の経過及び審議結果

案件

(1) 令和7年度三沢市立三沢病院事業会計予算

(2) 三沢市医師等修学資金の貸与

について、原案のとおり了承されました。

その他として、三沢市医師等修学資金の追加募集について了承されました。

主な質疑は次のとおりです。

【委員】

令和6年度予算で一時借入金の限度額を増額したが、令和7年度は一時借入金の限度額はいくらに設定するか。

【三沢市立三沢病院】

令和7年度当初予算における一時借入金の限度額は、令和6年度に補正で増額させていただいた限度額20億円と同額としている。一時借入金は、収益的収入及び支出の予定額や投資的収入及び支出の予定額として予算化されるものではなく、予算書のキャッシュ・フロー計算書や貸借対照表に借入予定額や返済予定額が記載される。

【委員】

令和6年度は、市一般会計からの繰入金が多額であったが、令和7年度予算での繰入金はどの程度の額になっているか。

【三沢市立三沢病院】

令和6年度当初予算では811,637千円であったが、令和7年度当初予算では、103,043千円増の914,680千円となっている。

【委員】

令和6年度補正では基準外の繰入金もあったが、令和7年度当初予算の一般会計繰入金は基準内の繰入金のみか。それとも基準外の繰入金も含まれているのか。

【三沢市立三沢病院】

令和7年度当初予算に計上している繰入金はすべて基準内の繰入金である。項目ごとに経費を詳細に算定した結果、令和6年度当初予算に比べて1億円強の増となった。

【委員】

当初予算の段階で、過不足額が534,235千円となっているが、予算通りに病院事業が運営された場合、どうなるか。

【三沢市立三沢病院】

予算通りに推移すると、令和7年度は赤字決算となり、貸借対照表の未処理欠損金にその額が加算されることになる。

【委員】

キャッシュベースではどうなるか。

【三沢市立三沢病院】

当該赤字に近い額の一時借入金が増えるということになる。

【委員】

経営安定化の第一歩の予算ということは理解した。いずれは、この赤字が0になるという予算を目指すということによいか。

【三沢市立三沢病院】

令和5年度決算は11億円を超える赤字であった。令和6年度は、令和5年度に比べると収入は改善傾向にある。令和7年度当初予算の入院収益は、入院患者数は1日平均140人で積算しているが、昨年末から今現在まで150人以上で推移している。このことから、収入の上振れ、赤字額の減少が期待できる状況となっている。このような状況から、昨年度11億円を超える赤字だったものが、令和7年度は赤字額が5億円を下回る可能性がある。しかし、診療報酬改定もない状況で、人事委員会勧告による人件費増も想定されるので、令和7年度も厳しい状況は続く想定している。

【委員】

赤字となった場合、借入金という考え方と、一般会計からの繰入という考えになると思うが、その判断はどのように決めているか。

【三沢市立三沢病院】

当院の経営状況や市の財政状況を鑑みて、その都度、協議ということになる。

【委員】

当初予算時点で、今年度予算の赤字解消方法について決まっているわけではないということとは理解できた。

【三沢市立三沢病院】

9月、10月までの経営状況から、その時にまた判断するということになる。

【委員】

令和7年度予算全体を見ると非常に切り詰めた予算に見えるが、どのように編成したか。

【三沢市立三沢病院】

令和7年度予算編成については、収入・支出ともに例年以上に厳しい査定を行った。

【委員】

厳しい査定をする中で、病院職員の待遇を悪くしたのでないかと懸念されるが、どうか。もし、待遇を悪くしたのであれば、働く意欲・モチベーション低下が心配される。

【三沢市立三沢病院】

職員個々の待遇は悪くしていない。人事委員会勧告通りの予算措置としている。全国の公立病院の中には、ベースアップを行わないというところもあるようだが、退職する方もでてくる、モチベーションが下がるという懸念があることから、まずは人件費以外の改善に努めることとしている。220床から198床に減床するため、看護師の減員は行うこと

としている。医療機器更新も国庫補助の活用や更新時期の再検討等を行うこととしている。

**【委員】**

資本的収入及び支出の不足額を補填する当年度分損益勘定留保資金とは何か。

**【三沢市立三沢病院】**

収益的収入及び支出の項目に、実際の現金の収入がない項目「長期前受金戻入」、実際の現金の支出がない項目「減価償却費等」があり、その差額が当年度分損益勘定留保資金となる。収益的収入及び支出は投資の予算のため資金不足になることが多く、収益勘定留保資金から補填する仕組みになっている。

**【委員】**

198床になることにより、外来は紹介状不要になるということで、市立病院とかかりつけ医との関係はどうか。

**【三沢市立三沢病院】**

本院が積極的にかかりつけ医になるということではなく、今まで通りという考え。ただし、これからは、かかりつけ医からの紹介状がない状態で直接本院に来たとしても、選定療養費不要で診療するという体制になる。

**【委員】**

変更点、改善点は市民にPRするべき。

**【三沢市立三沢病院】**

ケーブルテレビ、広報、情報メールで適時情報提供しているが、今回は大きな変更のため、様々な媒体を活用して、さらなる情報提供に努めたい。

**【三沢市立三沢病院】**

三沢市医師等修学資金の貸与の募集期間を過ぎた後に、関東の大学の薬学部に進学予定の方と、弘前大学医学部医学科に編入予定の方から、貸与について問い合わせ・相談があり、追加の募集があれば、申請を検討したいとのことであった。当院の不足職種である医師及び薬剤師であることから、年度内に追加の募集を行いたい。

**【委員】**

応募があれば受け入れて、不足する職種を補うべきと考える。

**【委員】**

通年募集にはしないのか。応募時期を決めている理由はあるのか。

**【三沢市立三沢病院】**

貸与するために予算を必要とするため、予算編成に間に合うようにという観点等から、現状は、年末に1ヶ月程度の募集期間としている状況。今後は、他の奨学金等の運用等も研究し、応募しやすいような環境に改善したい。

**【委員】**

機会損失が懸念されるので、前向きに検討していただきたい。

**【委員】**

委員の発言が委員全員の総意だと感じるので、予算を措置し、支援し、当院で活躍していただきたい。

**【三沢市立三沢病院】**

審議会の同意を得られたので、速やかに追加募集の手続きを進める。

**【委員】**

外来患者意識調査のような調査を行ったことがあるか。

**【三沢市立三沢病院】**

当院では初めての取組であった。

**【委員】**

次の審査会では、集計結果を分析した内容をお知らせ願いたい。

**【三沢市立三沢病院】**

次の審査会では、分析結果のほか、どのような施策を実施して時間短縮を図るか等までお示しできればと考えている。

**【委員】**

前回の審議会では、外部でのアンケートをしてはどうかという委員提言があったが、検討状況はどのようになっているか。

**【三沢市立三沢病院】**

現状は、第1弾として、院内の患者さんをターゲットとしたアンケート調査を実施し、院内の改善事項把握とした。今後、需要があれば、例えば市役所に訪れる人等へのアンケート調査も検討したい。

**【委員】**

検討ではなく、ぜひやって欲しい。病院側の需要だけでアンケートするかどうか判断するべきではない。当院に通院している人だけを対象としたアンケートで終わるのではなく、当院に通院せずに、市内の他の病院や市外の病院に通院している人も多くいるので、回答率は悪いかもしれないが、当院を改善するためには外部アンケートも実施するべきだと思う。